

第8回 (8/29号)

水稻病害虫発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は、概ね平年並みで推移しています。葦山地区では出穂期にかかっています。長岡地区、大仁地区では開花期に入っており、大仁の神島地区では乳熟期に入っていました。山間地に関しましては、全体の7割程度が黄熟期に入っており、早い所では刈り取りを行っている圃場もありました。

② 病害虫状況

今回調査した結果、ほとんどの圃場でウンカ類、ヨコバイ類の発生が確認されましたが、防除が必要な量ではありませんでした。多くは夏ウンカ（セジロウンカ、ヒメトビウンカ）でした。秋ウンカ（トビイロウンカ）は確認できませんでしたが、次回以降も予察の結果を確認して頂き、今後の発生状況に注意しましょう。

また長岡、大仁地区で、カメムシの発生が多く確認されました。カメムシは乳熟期中の籾を吸汁し、斑点米の被害の原因になります。自身の圃場を確認していただき、薬剤防除を行いましょう。

殺虫剤

○スタークル粒剤 3kg/10a 3,360円/1袋 (3kg)

時 期：出穂期～出穂10日頃

備 考：上記時期はカメムシの散布適期です。秋ウンカもこの頃に密度が増加してきます。カメムシ対策も兼ねてこの時期に散布を推奨します。

○トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 1,330円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元にかかるように行う。

※商品の値段は全て税込表示です。



←ホソハリカメムシ

管内で多く発生が確認されていますのでご自身の圃場の発生状況をご確認ください。

問い合わせ：葦山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。